

## 98 《聖マタイの召命》にある向こう側ポーズ

### 映画の中に証拠あり

2024（改訂版）

真鍋友範

#### 1 イエスの向こう側ポーズは、映画にも証拠あり

あなたは、あるハリウッド映画を覚えているだろうか。

その映画とは、トミー・リー・ジョーンズとアシュレイ・ジャッド出演の《ダブル・ジョパディ》1999年パラマウントの米映画だ。

身に覚えのない夫殺害の罪で有罪となったアシュレイ・ジャッド扮するリビーは、仮釈放後に、夫を見つけ出す為に逃亡するが、トミー・リー・ジョーンズ扮する保護観察官トラヴィスが、彼女を逮捕すべく追う。

後半、トラヴィスはニューオーリンズの街まで追跡し、逮捕が迫る。

雨の中、赤い傘の女を追跡する中、遭遇した騎馬警官に対し『女はどこに行った』、と尋ねた。

聞かれた騎乗の騎馬警官は、手で大きく半円を描くポーズで【向こうだ】、と答えた。

西洋でも、我々日本人と同様、向こう側を示すポーズを行い、その意味はインターナショナルであると、この映画のこの場面で感じたのを覚えている。

る

著作権問題があり、ここでの画像は提示できない。

しかし、DVDを入手して、ぜひ一度見ていただければ、納得されるに違いない。

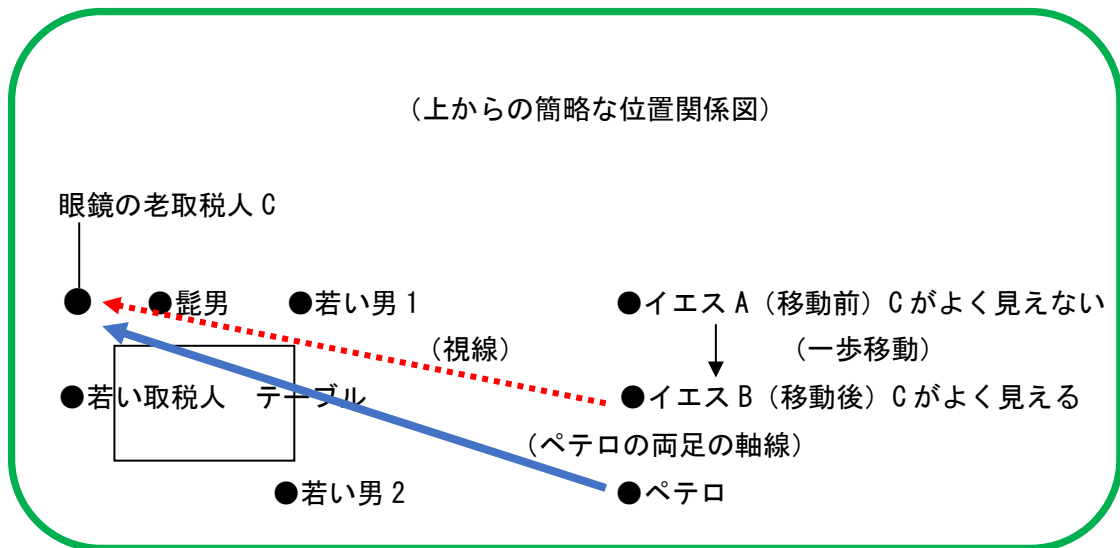
ほぼ瞬間的な短いシーンだが、聖マタイの真相を裏づける上で、重要なヒントとなるシーンだ。

つまり、《聖マタイの召命》で、イエスの行った向こう側の人（眼鏡の収税人）を示すポーズは、日本のみならず、西欧でも、このように遠くの人物を示すケースにおいて、ごく普通に用いられるということなのだ。

参考：《聖マタイの召命》 イエスは手を回して向こう側の人を示した。



- \* 1 親指 「ご用は私ですか。」：親指を胸に向けた
- \* 2 人差し指 「それとも、隣の眼鏡の収税人ですか。」
- \* 3 左手のひら 「あなたの質問に答えよう。」：肘を曲げ、開いて見せた（受容）
- \* 4 右足移動 メガネの収税人の顔の見える左位置への、視点の横移動動作
- \* 5 父なる神からの導きの光線が、内窓枠に沿ってマタイの頭頂部・（点光）に当たる。
- \* 6 イエス右手の回転動作 「あなたの向こう側の眼鏡の人です。」—「私に従いなさい。」
- \* 補足 1：イエスの目と、廻した手の甲の止まる位置の延長線上に、目指す相手の顔がある。
- \* 補足 2：背を向ける若い子収税人の剣の軸線は、イエスの頭頂部に向かっている。誘導線
- \* 補足 3：イエスの、力を抜いた右手首回転運動の軌跡：ホワイトの曲線
- \* 補足 4：イエスの意思・召命相手を示す：グレーの曲線



\* 質問する髭男の【向こう側】にいる人物は、ただ一人。  
召命対象者は、眼鏡の老取税人だ。

- \* 質問したのは髭男だから、髭男の向こう側の人物は、眼鏡の取税人以外はあり得ない。
- \* 画家カラヴァッジョの卓越した画面構成力が理解できる。

この映画内の【向こう側を示すポーズ】は、普遍的であり、通常の日常場面で用いられることを示している。16世紀のローマでも使われていた、ありふれたポーズなのだ。人の位置を示すポーズは、決して指差しポーズだけではないのだ。